役立つ情報と笑顔をお届け

2021年
3月1日 vol. 94

発行元
札幌リブレ行政書士法務事務所

—リブレのゆかいな仲間たちがお送りする—

3分で読める！ リブレ速報 focus

スタッフ佐々木の 思い出とともに・・・

【いつもあなたのコンシェルジュ】
011-213-0978
info@sapporo-libre.com

あぁ～～～～～どこかに行きた～い！！！！！
まだまだコロナも落ち着かない今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。
本当ならこのニュースレターも「〇〇に行きました！！」とか、「〇〇を体験してきました！！」とか、アクティブな内容でパーッと賑わせたいところなのに、もう…何も出来ないっ！！あぁ…何も出来ないっ！！
職場の人と楽しくランチすることすら、実家に帰省することすらはばかられるこの御時世。
もう…どこかに…行きたいっっ…！！！！！！！！
この気持ちをほんの少しでも鎮めるために、今日は旅行や帰省に関するエピソードを思うがままに書いて行きたいと思います。

【子どもの頃の家族旅行①】

札幌への家族旅行の道中に必ず立ち寄っていたのが長沼町。
若い頃の両親は長沼町のとあるコンビニの前で大喧嘩をした様で、

当時の母は怒りに任せて
もういいっ!! 歩いて帰るっ!!
と車を降りてしまい、

慌てて父が
ちょっと!! 歩きは大変だって!!
と必死で止めたそう。
(釧路～長沼間は約260キロ)

そういうことじゃないだろって感じですけど。

僕が産まれてからも、長沼町を通るたびに
ここから歩いて帰るって言ったんだよ(笑)
と父が茶化すので、
まだその話すんの!?
と母といまだに喧嘩をしています。
もはや喧嘩の理由も忘れてしまっているくせに。
そんな長沼町の思い出でした。

【子どもの頃の家族旅行②】

続いては北見でのお話し。

小学校低学年の時に家族でちょっとお高めの和食料理屋さんに訪れたことがあって。

そこで両親が頼んだメニューには茶碗蒸しが付いていたのに、自分のには付いてこないと勘違いしてしまい、
(実際はちゃんと付いてきた)

食べたい！！
自分だって茶碗蒸しが食べたい！！と猛抗議。

すると奥の座席に居た強面のおじさんが
これをあの子にやってくれ…
と、店員さんを介して僕に茶碗蒸しを譲ってくれたんです。

ありがとうおじちゃん!!
と素直に感謝を伝えたけれど、その出来事を振り返る度に
あれは絶対に一般人ではなかったぞ…
と未だに両親は僕を軽く叱ります。
ですがそれ以来、強面の人ほど優しい…という考え方が自分には染み付いていて、茶碗蒸しを食べる度にそんな話を思い出すんですよね。
あの時のおじちゃんありがとう。

【交通系ICカードの話】

自分の中ではいまや道外旅行の際に欠かせないアイテムとなってきた交通系ICカード。
KitacaとかSuicaとかICOKAとか。近しい名前で色々あるやつ。
地域によって絵柄が違うから、いつもコレクションしたい気持ちになっちゃう。これを全国で使える…までは良いんですけど、
その地方の事業者によって(JR北海道とかJR東日本とか)、
駅入場時の取り扱いが違うんですよね。

北海道や東日本では初乗り運賃以上の残高がないと改札で引っかかるけど、
九州では残高が10円以上あれば改札OKとか、
西日本に至っては0円でも入場は出来ちゃう。

そんなことを知ってからは、札幌市営地下鉄の改札を残高不足で通る度に「うぅ…優しい…ありがとう…」と心の中でひっそりと感謝を告げています。
そんな話。

【道東の食文化】

同じ北海道といえど、やっぱり地域によって食文化が違うのだなぁと思う時があります。

例えばコンビニでアメリカンドッグ(フレンチドッグ)を買った時。
札幌ではケチャップとマスタードが何も言わずに付いてくるけど、
道東地域では
砂糖まぶしますか?? ケチャップにしますか??
と必ず聞いてくれます。
お祭りの屋台だってそうだし、むしろ最初から砂糖がまぶされていたりもする。そもそも砂糖まぶす方法以外で食べている人を見かけたことがない。

道東に訪れる機会があった際は是非、かの有名なセブンイ〇ブンさんでアメリカンドッグを買ってみて下さい。きっと店員さんが慣れた手付きで砂糖をまぶしてくれるはずです。

【釧路の思い出】

全然帰れてないんです。地元の釧路町に。
釧路町といえば「長ぐつアイスホッケー」というスポーツがあって。
名前通りに長靴を履いてアイスホッケーをするっていうシンプルなもの。
町民大会も全国大会もインターナショナル大会もあって、毎年2月になると釧路町の屋外スケートリンクは長靴アイスホッケーで賑わいます。
小学校の体育の授業にも組み込まれていて、まだ僕が小さかった頃、担任の先生から
ゆうたくん!! オフサイド気をつけて!!
と注意されて、
おふさいどってなに????
と戸惑った記憶があります。
サッカーより先に長靴アイスホッケーでオフサイドの存在を知る子どもがこの世界には居ます。

【あとがき】

あかりをつけましょぼんぼりに～♪おはなをあげましょ ももものはな～♪ひなまつりですね。
僕は一人っ子なのですが、これまで割と「ひなまつり」を意識しながら生きてきていた様な気がします。
やっぱりひなあられとか食べたかったし、雛人形を飾っているのを見ると嬉しかったりもしたし。
ヒーロー物のフィギュアで遊ぶのが好きだったくせに、子どもながらに「これは触っちゃいけない人形だ…」と感じ取っていた不思議な感覚。やっぱりあの目のリアルさに怖気づいていたのかなぁ。
コロナ環境に慣れすぎて、「五人囃子って密だなぁ～」と彼らの間にアクリル板がないことに違和感を感じてしまっているのも悔しいです。はやく五人囃子の様に仲良く並んで過ごせる日々が戻ると良いな～。

担当 佐々木です